

人材バンク “魅学” プログラム例記入書

登録者名 (団体名) 伊藤 憲一

プログラム名	「絵手紙」体験講座		
プログラムのねらい	絵手紙を描くのに決まりはありません。好きな用具を使い自由に表現すればよいのですが、この講座では水彩絵の具を用いて野菜や果物を表現します。		
講座名・テーマ 学習分野等	学 習 内 容 等 (具 体 的 に)	時間数 (分・時間)	備 考 (備品等)
1、はじめに	○簡単な自己紹介。体験談を交えて。	10分	
	○手描きで表現することの素晴らしさ。		
2、用具について	○今回は「水彩絵の具」	10分	
	その特徴と用法		
3、実技・体験	○テーマを決めて実際に描く。	40分	・用具は参加者各自持参 (スケッチ用鉛筆、絵の具、筆等)
	○描き方の手順とポイントを説明		
	○実施・体験		
4、作品鑑賞	○完成した作品をお互いに鑑賞し合い、感想・コメントを加える。	10分	
5、技法の応用	○本日の技法の応用と、表現展開アイデアを紹介。 作例を提示。	10分	
6、質疑・応答	○参加者からの質問にお答えします。	10分	
	合 計	90分	



